

浅草岳トレッキング記録



雪がだんだん深くなる



ツェルトを張ってランチ

目的地	浅草岳スノーシュートレッキング	期 日	平成19年2月12 (祝)
山行人	佐々木康男・フサ子、中野茂、笠原正雄	特 記	ネズモチ平展望台までと思い出かける。

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与板発	6:30	曇	長岡～堀ノ内間高速道。入広瀬道の駅でトイレ休憩。
大自然館前P	8:45 発	小雪	他に入山者は居ない。除雪終了地点から雪の上に上がり、笠原と中野はスノーシュー、佐々木夫妻は和カンジキを履く。新雪約15cmから始まる。トレースと思われるが、場所によって僅かに雪面が低い所がある。
立ち休み	9:45～9:50	〃	田代平分岐を過ぎた標高600付近。新雪が膝の深さとなる。2人で先頭を交代しながらラッセル。すでに汗をかく。風が無く、小雪もさほど苦にはならない。先の道が見えるところで林道をショートカットする。
右沢橋を渡る	10:45～10:50	〃	橋の上には約1mの積雪。渡り終えて休み、少し食べる。当初、林道を離れて台地へ上がるつもりであったが、上り口を特定出来ず、林道を進む。
三叉路右折	11:25	〃	左に続く林道を見送り、右折の道を上りエコミュージアムに向かう。
エコミュージアム	11:40	〃	左旋回で巻きながら上がって行くとの屋根の突端が見えた。斜面を直登し、小体育館程度の大きさの木造建物脇広場に出る。半周して見たが、軒先までの積雪で、窓も出入り口も埋もれている。
ツェルトを張る	12:00	〃	付近の林に佐々木の和カンジキの紐を借りて昼食場を設営する。細かいツブ雪が降っている。腰を降ろしている時間が長くなれば寒くなる。
下山開始	1:15	〃	下れそうな斜面を探し2度直下降して林道に戻る。帰りは道が出来ていて早い。佐々木の和カンジキの紐が解け、結び直す。下りの中野が前を行く。
右沢橋	1:45	〃	少し明るくなってきた。東の空が切れて、少しの間青空が見えた。
※ 標高600m付近	N 37.22.07 E139.11.27	〃	往路ショートカットした地点で、南方向に上がれそうな緩く広い斜面があった。往きではショートカットに木をとられて、気が付かなかった。
大自然館前P	2:40	〃	5分前に白崩橋を渡る。左岸のルートにはトレイルの窪みも見えない。入山者はまだ居ないのかも知れない。
与板着	4:50	〃	もう一度入広瀬道の駅に立ち寄り、栃尾経由で帰る。この時季であっても榎トンネル付近も積雪は極僅かであり、全くの暖冬少雪だ。

2万5千の地図で林道から標高点678～822～展望台のルートを想定して出掛けた。しかし、H678に上がる※地点を往路で気付かなかった。また地図読みでもその地点を見誤っていた。結局林道歩きで終わってしまった。常に地図と現地を照合しながら歩く習慣をつけないければならないと思った。だが、要老眼鏡者にはなかなか難しい課題だ。

